



2005年に移転新築した病院外観



オープンと同時に患者が集まる待合室

# 白川整形外科内科

(北見市)

2代にわたり地域貢献  
訪問診療の実現を目指す

北見市の白川整形外科 外来・入院から在宅へ  
内科(白川久統理事長・という流れの中で、自宅  
19床)は、先代の白川久に代わり、98年に介  
成院長が「自身の思い描く医療を展開したい」と  
久成氏は北見赤十字病院から第2代院長に久統氏  
で整形外科部門の立ち上がりが就任した。05年に現在

げに携わり、初代部長に就任。92年から11年間に、リハビリに重点を置く。高年齢者への支援拡充のため、親子2代にわたり地域医療に貢献している。

北見市の白川整形外科 外来・入院から在宅へ  
内科(白川久統理事長・という流れの中で、自宅  
19床)は、先代の白川久に代わり、98年に介  
成院長が「自身の思い描く医療を展開したい」と  
久成氏は北見赤十字病院から第2代院長に久統氏  
で整形外科部門の立ち上がりが就任した。05年に現在

き、理学・作業療法や治療室、地域ニーズをくみ取り、11年に訪問リハビリ、新たに内科医を確保できれば、実施する方針だ。12年には訪問看護をスタートし、16年からは退院支援加算の算定を始めた。必要に応じてスタッフを患者宅へ訪問し、退院に向けて問題がないかチェック。退院後の状況や困りごとの有無を電話で確認するなど適切なフォローに努めている。最後まで同診療所に診てもらいたいという患者もいる。

たいう長期通院患者が目立ち、訪問看護の場でも白川院長に来てほしいという要望が多いという。そうしたニーズにこたえるため訪問診療を計画しているが、常勤と非常勤医師各1人とあつて、実行困難な状況が続く。新たに内科医を確保できれば、実施する方針だ。

研修は、希望する内容のアンケートを取り、主に「医療安全」「接遇」「感じやすい環境」などについて外。部講師を招き、全職員参加で年4回実施している。白川院長は、「医療介護一体で地域を支える体制を実現するため、5年3回はスタッフと所属が面談し、課題や施設からの意向を伝え、業

地域ニーズをくみ取り、11年に訪問リハビリ、新たに内科医を確保できれば、実施する方針だ。12年には訪問看護をスタートし、16年からは退院支援加算の算定を始めた。必要に応じてスタッフを患者宅へ訪問し、退院に向けて問題がないかチェック。退院後の状況や困りごとの有無を電話で確認するなど適切なフォローに努めている。最後まで同診療所に診てもらいたいという患者もいる。



平昌オリンピック出場した、北見のカーリングチーム「ロコ・ソラーレ」に帯同したPTも在籍している